

牧尾ダム堆砂対策事業計画策定業務 歩掛参考見積条件

1. 見積内容

1-1 基本条件

- 1) 本歩掛参考見積は、牧尾ダム堆砂対策事業計画策定業務の変更積算に当たり、設計に係る直接人件費について、歩掛参考見積を依頼するものです。
- 2) 業務の積算に係る直接経費、間接原価、一般管理費等については、独立行政法人水資源機構が制定する「積算基準及び積算資料(調査等編)」の設計業務積算基準に基づくものとします。

2. 概要

本業務は、計画堆砂量を超える土砂の流入・堆積、1号貯砂ダム復旧等、今後、貯水池機能やダムの維持管理に大きな支障を及ぼす課題が顕在化していることを踏まえ、牧尾ダム堆砂対策事業に係る設計を行うものであるが、今回王滝川ダムの嵩上げの検討を行うものである。

3. 設計条件

3- 1 王滝川ダムの嵩上げ検討

本業務に係る契約図書、指示事項及び貸与資料等を整理するとともに、業務を実施するにあたって以下の検討を行こととする。

1) 基本資料収集・整理

調査資料等の内容を収集・整理するとともに、検討に必要な資料を収集する。

平面図の作成にあたっては、国土地理院地図等の資料を用いて作成するものとするが、これに変わる地図を用いて作成する場合は、監督員と協議するものとする。

2) 嵩上げに伴う貯水容量検討

増加する貯水量を1m毎に22断面算出し、H-V表を作成するものとする。なお、貯水位はフラットに貯留されるものとして、水位勾配は考慮しないものとする。

3) 嵩上げ高さ検討

牧尾ダム上流に整備されている王滝川ダムについて、牧尾ダムの堆砂状況から別途業務で算出した、「王滝川ダムに確保する貯水容量」を元に嵩上げの高さを決定するものとする。

併せて、嵩上げた結果の貯水池平面図を作成する。

4) 総合検討

王滝川ダム嵩上げにより、下記項目の整理を行うものとする。

- ① 嵩上げにより影響する上流施設、周辺施設等。
- ② 嵩上げにより上流施設、周辺施設等に影響しない高さ及び貯水容量。

5) 報告書作成

王滝川ダム嵩上げの検討した内容をとりまとめ、報告書を作成するものとする。

報告書の整理としては、王滝川ダム嵩上げ検討の資料のみ、1細別として整理するものとする。